

指月アワー 宗教委員会主催講演会

ヒマラヤの麓でタンカ修行 ～チベット仏画師の日常～

日時： 2009年6月3日(水)

13:00～14:30

場所： 弘誓館 G101

講師： 田上 操 氏

1979年生まれ。1997年よりダラムサラに行きチベット文化に魅了される。その後9年間にわたりダラムサラに滞在、チベット人間国宝級のタンカ絵師サンギユ・イエシェー師の下でタンカ絵師としての道を追う。帰国後は創作活動の傍らチベット語教室を運営。



<講演会要旨>

チベット仏教美術のうち、仏画のことをタンカと呼びます。タンカとは掛け軸のように表装された絵という意味です。タンカに描かれるのは実在した人物、たとえばお釈迦様やインド、チベットの仏教に関わった聖人達、また特殊な瞑想法に出てくるイダムと呼ばれる尊格、何千ともいわれる仏陀、菩薩、守護神たちの姿です。タンカはチベット仏教寺院内はもちろんチベット人の家に飾られ、一度魂を込められた仏画や仏像は仏そのもののように扱われます。今回は外国人である自分がインドでのチベット難民との9年間の生活の中でチベット仏画をどのように学んだか、その過程と仏画を描く技法についてお話したいと思います。

問合先： 0774-25-2527 (担当:村山迄)

※申込み不要、入場無料、マイカー不可

主催：宗教委員会